

<MFJ 全日本トライアル選手権> 小川友幸選手が IAS クラス 13 回目のチャンピオン獲得で MFJ 記録を更新

11月12日（日）に大阪市中央公会堂前（大阪府大阪市北区）で開催された、「2023 MFJ[※] 全日本トライアル選手権シリーズ 第8戦 City Trial Japan 大会」において、最高峰の国際A級スーパー（IAS）クラスで、TEAM MITANI Honda の小川友幸選手が、11年連続通算13回目のチャンピオンを獲得しました。

これにより小川選手は、全日本トライアル選手権のみならず、ロードレース選手権、モトクロス選手権も含めた、MFJでのチャンピオン獲得の最多記録を更新しました。

※ MFJとは、Motorcycle Federation of Japan（一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会）の略称



小川友幸選手



小川友幸選手と RTL301RR

これまで IAS クラスで 10 連覇している小川選手は、今シーズンは新型の「RTL301RR」を駆り、全日本選手権の新記録となる 13 回目のタイトル獲得に挑みました。

開幕戦の愛知・岡崎大会はチームメイトの氏川政哉選手が優勝し、小川選手は 2 位となると、第 2 戦 熊本・山鹿大会では小川選手が優勝、氏川選手が 2 位で、TEAM MITANI Honda としては、2 戦連続でのワンツーフィニッシュを達成しました。第 3 戦 もてぎ大会では 4 位、第 4 戦 近畿大会は 3 位と、小川選手にとって不本意な結果となり、ポイントリーダーを氏川選手に譲る結果となりました。しかし第 5 戦 北海道・和寒大会では小川選手が優勝、氏川選手が 2 位となり、3 戦ぶりに TEAM MITANI Honda がワンツーフィニッシュを飾りました。小川選手はその勢いで第 6 戦 広島・三次灰塚大会、第 7 戦 においても優勝し、3 連勝によりランキング首位を奪還しました。

そして最終戦の City Trial Japan 大会は、IAS ランキング上位 10 名で争われ、優勝こそ氏川選手に譲ったものの着実に 2 位を獲得し、見事に新記録を達成しました。

■ TEAM MITANI Honda 小川友幸

「なんとか減点を抑えて 2 位に入り、タイトルを獲得することができました。優勝よりまずはタイトル獲得を念頭に置いての戦いとなりましたが、ファイナルが始まってからは、優勝したいという欲も出てきました。前半がよくなかったこともあり、最後はちょっと恥ずかしい走りで終えてしまいましたが、まずは連覇も達成し、タイトル獲得数も MFJ 記録を更新できて、本当によかったです。とにかく我慢し続けた 1 年でした。改めて応援していただいた皆様に“ありがとうございます”と感謝の気持ちを伝えたいです」

■ TEAM MITANI Honda 監督 三谷知明

「小川友幸選手が見事に全日本選手権の新記録である V13 を達成してくれました。監督として心からおめでとうと言いたいです。今シーズンは TEAM MITANI Honda に所属する選手同士がタイトルを争うことになり、監督としてはこの上なくうれしい気持ちの一方で、どちらかの選手は、チャンピオンにはなれないという残酷な事実にも、とても悩ましい気持ちになりました。絶対王者の小川選手に対し、若手の氏川選手が挑むことで新たな緊張感が生まれ、それにより選手権全体がより活性化したような気がします。最後になりましたが、いつもチームを支えてくれているスポンサーをはじめ、大勢のトライアルファンに深く感謝いたします。来シーズンも変わらず応援をお願いいたします」

■ 小川友幸（おがわ ともゆき）選手のプロフィール

生年月日

1976 年 10 月 4 日（47 歳）

出身地

三重県

主な戦績

MFJ 全日本トライアル選手権シリーズ

1992 年	国際 B 級 チャンピオン
1993 年	国際 A 級に昇格 2 位
2007 年	国際 A 級スーパークラス チャンピオン
2010 年	国際 A 級スーパークラス チャンピオン
2013 年～2023 年	国際 A 級スーパークラス チャンピオン